

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	御幸日中活動センター	評価対象年度	令和2年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人県央福祉会 ・代表者名 佐瀬 睦夫 ・住所 神奈川県大和市柳橋5-3-1	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

### 2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員30名） 在籍者数 21名（令和3年3月31日現在）																										
収支実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">収入</th> <th style="text-align: left;">支出</th> <th style="text-align: right;">収支差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉事業活動 103,605千円</td> <td>福祉事業活動 100,606千円</td> <td style="text-align: right;">2,387千円</td> </tr> <tr> <td>給付費 73,765千円</td> <td>人件費 67,339千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市単独扶助 20,827千円</td> <td>事務費 18,361千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理委託料等 0千円</td> <td>事業費 7,906千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>拠点区分間繰入金 6,000千円</td> <td>拠点区分間繰入金 7,000千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他 3,013千円</td> <td>施設整備等支出 612千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計 103,605千円</td> <td>合計 101,218千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	収入	支出	収支差額	福祉事業活動 103,605千円	福祉事業活動 100,606千円	2,387千円	給付費 73,765千円	人件費 67,339千円		川崎市単独扶助 20,827千円	事務費 18,361千円		指定管理委託料等 0千円	事業費 7,906千円		拠点区分間繰入金 6,000千円	拠点区分間繰入金 7,000千円		その他 3,013千円	施設整備等支出 612千円		合計 103,605千円	合計 101,218千円		※端数処理のため合計が一致しないことがあります。	
収入	支出	収支差額																									
福祉事業活動 103,605千円	福祉事業活動 100,606千円	2,387千円																									
給付費 73,765千円	人件費 67,339千円																										
川崎市単独扶助 20,827千円	事務費 18,361千円																										
指定管理委託料等 0千円	事業費 7,906千円																										
拠点区分間繰入金 6,000千円	拠点区分間繰入金 7,000千円																										
その他 3,013千円	施設整備等支出 612千円																										
合計 103,605千円	合計 101,218千円																										
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアが必要な方を含め重度の利用者を多く受け入れ、看護師が常駐する体制をとるなど、重度障害の利用者の体調面の管理等に努めている。</li> <li>・支援の構造化を強化し、写真カードや絵カード、予定表などを掲示することで、利用者さんの見通しや自立度を高める取り組みを強化し、また、二つの活動室を一つに統合することで、より手厚い支援ができる体制を整えた。</li> </ul>																										

### 3. 評価（評価段階：5～1、標準：3、加点割合：5→100%、4→80%、3→60%、2→40%、1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	3	6
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
(評価の理由) ・看護師が常駐できる体制を整備し、喀痰吸引や胃ろうなど医療的ケアが必要な重度重複障害の利用者に対応した。また肢体不自由の利用者については、関係機関への個別の専門相談や各専門職とのケア会議を実施するなど複数機関での支援体制をとり、利用者一人ひとりに対応した支援を行っている。 ・家族連絡会の開催回数を縮小した代わりに、四半期に1回発行していた『みゆき通信』を毎月の発行に切り替え、利用者や事業所の様子を家庭に伝える機会を増やした。					
収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・支出については、経費の見直しを行うなど、無駄を削減しているが、人件費増加等により当初の見込みを上回った。 ・収入については、利用者への出勤率の向上や、加算の算定要件を満たすことで予算を上回る収入を確保することができた。 ・監査法人からの監査を受け、指摘事項を職員内で共有する等、社会福祉法に基づく適切な会計手続が行われている。					

サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	3	3
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記録など事務処理方法の見直しや帰所時の待機場所の変更などを実施し、効率化により生み出した時間を活用して、支援内容や新しいプログラムを実施した。</li> <li>自閉症支援に長く携わってきた元法人職員にアドバイザーとし、支援力強化を図った。また、コロナウイルス対応を主眼に他事業所の見学を実施し、他事業所での良い事例について積極的に取り入れている。</li> <li>日常の支援で職員が気づいたヒヤリハットについて、法人全体で事例を分析し事故を防止するための仕組みを作り、サービスの質の向上に努めている。</li> <li>連絡帳や面談、意見箱などを活用し、日常的に家族や利用者からの要望を聞き取り、支援に反映させている。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火災や地震を想定した避難訓練を2回実施した。また新型コロナウイルス感染症に対して、基礎疾患を持つ利用者が複数いるため、他事業所なども参考にし、継続して感染予防に取り組んできた。</li> <li>看護師が常駐できる体制を整備し、手厚い支援を行っている。</li> <li>積極的にヒヤリハットをあげるなどして、令和2年度は交通事故2件のみで、医療機関受診につながる事故は0件だった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各種保守・点検、警備等については、委託により仕様書に沿って適切に実施されている。また、活動中の施設確認や、最終帰宅の職員が点検マニュアルを基に防犯確認できるよう、防犯対策を講じている。</li> <li>外溝の清掃は、職員自身が定期的に行い、美観を損なわないよう努めている。また、施設内の清掃に関して、障害のある清掃員を直接雇用しており、「サービスを受ける対象としての障害者」という一面に意識が偏らないように考えられていることは評価できる。</li> </ul>					

#### 4. その他加点

分類	項目	着眼点			評価点
その他 加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか			1
	(評価の理由) ・精神障害のある方を清掃員として雇用し、ケア会議を実施するなど安定した雇用が継続するように取り組んでいる。				

#### 5. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準: C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満  
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・新型コロナウイルス感染症により、地域との交流や外部講師を招いての事業などが中止になったが、主に季節にちなんだイベントを実施し、利用者が年間を通して楽しく過ごせるように努めた。  
・看護師が常駐できる体制を整備し、喀痰吸引や胃ろうなど医療的ケアが必要な重度重複障害の利用者に対応した。また肢体不自由の利用者については、関係機関への個別の専門相談や各専門職とのケア会議を実施するなど複数機関での支援体制をとり、利用者一人ひとりに対応した支援を行っている。

#### 7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

・令和3年度より、民設民営の施設運営が開始されるが、引き続き適切な施設運営に努めること。  
・医療依存度の高い重度重複障害のある利用者の受入れを積極的に行っていることについては評価できるが、引き続き定員の充足に向けた取組を行っていくこと。